



国立大学法人  
弘前大学

大学院保健学研究科  
被ばく医療人材育成  
推進委員会主催



令和6年

9月7日

9:15-15:40

Web開催

# 令和6年度 被ばく医療研修

## 【対象者・定員】

看護職者および診療放射線技師 30名（受講無料）

## 【研修の詳細・お申し込み方法】

URLまたはQRコードからご確認ください。

[https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/seminar\\_event/2460](https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/seminar_event/2460)

申し込み締切：7月22日（月）



## 【主催】

弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

## 【お問い合わせ】

弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当・桑田）

hh\_hh@hirosaki-u.ac.jp 0172(39)5518

## 令和6年度 被ばく医療研修 開催案内

弘前大学大学院保健学研究科では、本学が重点分野として掲げる「被ばく医療」の教育研究と地域連携及び国際化の推進を目的として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、その一環として平成22年度から継続的に緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修」を開催しています。

本研修は、被ばく医療や放射線に関する基礎的知識の習得、他職種との協働意識の向上を目的とした初学者が学びやすい入門的内容となっており、講義や実践的な演習の他、放射線被ばく事故を想定した受け入れ医療処置に関する机上演習や学習者同士のディスカッションの時間を設けております。

令和6年度は、オンラインで開催いたします。

初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワークの構築に興味のある方にお勧めの内容となっておりますので、お気軽にご参加ください。

1. 開催日時	令和6年9月7日(土) 9:15~15:40 <input type="checkbox"/> 各講義・演習の内容は別紙のプログラムをご確認ください。 <input type="checkbox"/> 事前学習としてeラーニングによる学習プログラムを受講していただきます。 詳しくはプログラムの「事前学習:eラーニング」をご覧ください。
2. 開催形式	オンライン (Zoom)
3. プログラム	別紙参照
4. 対象者・定員	看護職者および診療放射線技師 30名
5. 受講料	無料
6. 申し込み方法	事前申し込み制となります。下記の専用フォームまたはQRコードからお申し込みください。 <b>「令和6年度 被ばく医療研修」申し込みフォーム</b> <a href="https://forms.office.com/r/XLkvqKr7yi">https://forms.office.com/r/XLkvqKr7yi</a> 
7. 申し込み締切	令和6年7月22日(月) <input type="checkbox"/> 先着優先で定員に達し次第受付を終了させていただきます。
8. その他	<input type="checkbox"/> 本研修の修了者には修了証を発行いたします。 <input type="checkbox"/> 講師及び講義のタイトルは一部変更になる可能性があります。 <input type="checkbox"/> 本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。
◎お問い合わせ	弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ(担当・桑田) 〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 E-mail: hh_hh@hirosaki-u.ac.jp Tel: 0172-39-5518(内線5518) 事業ウェブサイト: <a href="https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/">https://ghs.hirosaki-u.ac.jp/hibakupj/</a>

弘前大学大学院保健学研究科  
令和6年度 被ばく医療研修（オンライン） プログラム

開催日時： 令和6年9月7日（土） 9:15～15:40

09:00～09:15	受付
09:15～09:30	開講式・ガイダンス
<b>講義 1</b> 09:30～10:00	「原子力災害医療と体制作り」 原子力災害の概要、原子力災害医療体制に関する実際を解説します
<b>講義 2</b> 10:10～10:40	「原子力災害医療－受け入れ体制作り」 原子力災害時の受け入れ体制作りについて、GSCATTT を中心に解説します
<b>演習 1</b> 11:00～11:30	「防護服着脱方法」 被ばく患者受け入れ時の防護服着脱方法を実践します (防護服を郵送：ご自宅等で実践していただきます)
<b>演習 2</b> 11:40～12:30	「皮膚の汚染部位の除染」 体表面汚染がある皮膚の除染方法を実践します (除染キットを郵送：ご自宅等で実践していただきます)
12:30～13:30	昼休み
<b>演習 3</b> 13:30～14:10	「傷病者の受け入れ準備」 傷病者を受け入れるにあたっての場の設定と人員配置、役割などについてグループワークを行い話し合いをします
<b>演習 4</b> 14:20～15:30	「傷病者の受入れ対応」 外部汚染のある患者の搬入から一般病室への退室までの一連の流れについて動画を見ながらグループワークで話し合います
15:30～15:40	閉講式・アンケート

# 弘前大学大学院保健学研究科 令和6年度 被ばく医療研修 プログラム

## 事前学習：eラーニング

講義 1	「放射線の基礎」 放射線の単位や性質、身の回りの放射線などの基本的な知識について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 細田 正洋
講義 2	「放射線の生物影響の基礎」 放射線による生物への影響などの基礎的な知識について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 吉野 浩教
講義 3	「放射線防護の基礎」 基本的な放射線防護や放射線規制などの基礎的な知識について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 細川 洋一郎
講義 4	「放射線の人体影響」 外部被ばく、内部被ばくによる放射線の人体への影響について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 柏倉 幾郎
講義 5	「緊急被ばく医療の原則」 緊急被ばく医療の原則とその概要について解説します	弘前大学大学院保健学研究科 齋藤 陽子
動画	1 防護服の着方 2 防護服の脱ぎ方 3 創傷汚染部位の除染方法	

○本研修では事前学習としてeラーニングによる学習プログラムを受講していただきます。

eラーニングの開講期間は8月初旬～9月末までの約2か月間を予定しており、受講者には別途受講IDを送付します。

○各講義の受講時間の目安は約20分、動画の視聴時間は3～10分程度です。

○主な動作環境は下記のとおりです。その他ご不明な点については別途お問い合わせください。

動作環境		2024年6月現在
<b>パソコン</b>		
Windows10 / 11	Google Chrome 107.0.5304.88 / 89 Microsoft Edge(IEモード) 107.0.1418.35 Internet Explorer 21H2(OSビルド 19044.2130)	
Mac OS 13.2.1	Google Chrome 107.0.5304.110 Safari ver. 16.3	
<b>スマートフォン</b>		
Android 11/12/13	Google Chrome 107.0.5304.91	
iOS 15.6.1	Safari ver. 15	
iOS 16.1.1	Safari ver. 16	
<b>タブレット</b>		
Android 9/12	Google Chrome ver. 107.0.5304.91	
iPadOS 15.7.1	Safari ver. 15	
iPadOS 16.3.1	Safari ver. 16	

<eラーニングに関するお問い合わせ先>

弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ(担当・桑田)

TEL:0172-39-5518 Eメール: hh\_hh@hirosaki-u.ac.jp